



キャンパス・コンソーシアム函館  
合同公開講座

函館学 2011

第3回講座  
講義資料

**イカ釣りの歴史と展望**

— 水産業を支える機械技術と情報技術 —

**浜出 雄一**

(株)東和電機製作所 代表取締役社長

**和田 雅昭**

公立はこだて未来大学 准教授

日時：平成23年7月23日(土) 午後2:00～3:30

会場：ホテル法華クラブ函館

主催：キャンパス・コンソーシアム函館

## 講師略歴

はま で ゆういち  
**浜出 雄一氏**

株式会社 東和電機製作所 代表取締役社長

1947年生まれ。函館ラ・サール高校を経て、武蔵工業大学機械科を卒業。父・浜出慈仁氏が創業した東和電機製作所に入社、機器設計などを手掛ける。1980年より取締役、1984年、父の急逝により36歳で同社代表取締役に就任。函館を拠点に全国各地、そして世界へと駆けまわる忙しい毎日をおくる。

わ だ まさあき  
**和田 雅昭氏**

公立ほこだて未来大学 准教授 博士（水産科学）

1971年静岡県焼津市生まれ。1993年北海道大学水産学部卒業後、(株)東和電機製作所に入社。2002年社会人特別選抜制度で北大大学院水産科学研究院博士課程に入学。2004年、同課程を修了し東和電機製作所を退社。2005年より公立ほこだて未来大学講師、2006年准教授。

情報処理学会山下記念研究賞、船井情報科学奨励賞などを受賞。特定非営利活動法人海洋情報技術研究センター副理事長も務める。函館イカマイスター。

## 株式会社 東和電機製作所

1963年函館に創業。当時は函館ドックから請け負う船舶用の配電盤や分電盤を製造した。親類の漁家から手回しイカ釣機の製作を頼まれたことをきっかけに、全自動イカ釣機の開発を始め、1971年イカ釣機を発売。当時、イカ釣機メーカーが国内外に割拠するなか、1984年世界初のコンピュータ式イカ釣機を世に送りだし、国内シェア第1位となる。「はまで式全自動イカ釣り機」は改良が重ねられ、「シャクリ」というイカ漁師の熟練技術を自動制御することで、漁獲量の増大をもたらした。現在30カ国以上に輸出され、世界のトップシェアを誇る。また、大間のマグロ漁で注目されるマグロー一本釣機や、ホタテの養殖耳釣り機械を開発・製造。さらに近年はイカ釣り漁のためのLED集魚灯の開発などにも力を注ぎ、省エネ化が注目されている。社有の試験船「濱出丸」も各地を巡り操業中である。

2003年 北海道新聞文化賞受賞、2004年文部科学大臣賞受賞など数多くの賞を受賞。モノづくりの元気な中小企業として全国に名を馳せる地元企業である。

本社・工場を函館市吉川町に構え、青森県むつ市、八戸市などに営業所を置く。従業員50名。

〒040-0077 函館市吉川町6-29 0138-41-4410

<http://www.towa-denki.co.jp/>

# イカ釣りの歴史と展望

— 水産業を支える機械技術と情報技術 —

(株)東和電機製作所 代表取締役社長 浜出 雄一  
公立はこだて未来大学 准教授 和田 雅昭

## 1. イカのいろは

## 2. イカ釣りの歴史と機械技術

- はまで式全自動イカ釣り機
- LED 集魚灯

## 3. 海を知る情報技術

- 海洋版 AMeDAS
- iPad の活用

## 4. イカ釣りの展望

- 競争的な漁業から協調的な漁業へ

## 5. 質疑応答